



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7220 URL http://www.musashi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 連結管理部長 (氏名) 伊藤 真佐弥 TEL 0532-25-8111
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	56,551	51.1	3,675	58.0	3,905	559.3	2,133	305.7
29年3月期第1四半期	37,417	△7.8	2,325	△27.5	592	△78.5	525	△63.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,011百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △6,834百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	68.40	62.52
29年3月期第1四半期	16.86	15.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	235,770	88,619	30.8	2,325.08
29年3月期	248,482	88,312	28.8	2,294.74

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 72,528百万円 29年3月期 71,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	26.00	-	26.00	52.00
30年3月期	-				
30年3月期(予想)		27.00	-	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	106,000	41.3	6,000	19.8	5,700	127.4	3,200	97.9	102.58
通期	213,000	18.0	13,000	16.4	12,500	21.1	7,800	23.5	250.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	31,200,000株	29年3月期	31,200,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	5,870株	29年3月期	5,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	31,194,197株	29年3月期1Q	31,194,461株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2017年4月1日～6月30日）における連結売上高は、北米地域において受注が減少したものの、中国、インド、タイを中心としたアジア地域の受注増加、そしてHAYグループの売上高が加わり、連結売上高は56,551百万円（前年同期比51.1%増）と大幅に増収となりました。

収益面では、連結営業利益は、アジア地域の生産性向上によるコスト削減、及びHAYグループの利益が加わったことにより、3,675百万円（同58.0%増）となりました。次に、連結経常利益は為替の円安効果もあり、3,905百万円（同559.3%増）となり、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は2,133百万円（同305.7%増）となりました。

自動車業界においては、電動化による機構変化やシェアリングに代表される移動サービスの台頭などが加速的に進展しております。これらの変化を更なる成長の機会とするため、当社グループは事業構造の強化ならびに、業務の効率化を実現するグローバルプラットフォームの構築を進めております。

当第1四半期連結累計期間におけるトピックスとして、事業構造の強化については、当社工場において能力増強投資に着手致しました。当社の精密鍛造・精密加工技術、ならびに一貫生産体制を支える広範囲のサポート技術を様々なお客様のニーズに合わせて適応してまいります。グローバルプラットフォーム構築については、当社グループ内の世界統一のプラットフォームとして刷新を致しました基幹システムについて、中国を皮切りに世界展開を開始いたしました。これにより、当社グループ内における業務効率と生産性の向上を目指します。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（日本）

主として国内子会社の業績回復により、売上高は6,677百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は448百万円（同65.5%増）となりました。

（北米）

米国ビッグ3メーカーからの受注減少が大きく響き、売上高は10,481百万円（同6.6%減）、セグメント利益は289百万円（同56.2%減）となりました。

（欧州）

商用車市場の回復に伴う堅調なHAYグループの業績により、売上高は18,794百万円（同12.5倍）、セグメント利益は661百万円（同183.1%増）となりました。

（アジア）

各社の増収効果及び生産性向上により、売上高は18,552百万円（同7.0%増）、セグメント利益は2,324百万円（同58.4%増）となりました。

（南米）

増収及び構造改革によるコスト引き下げ効果もありましたが、売上高は2,044百万円（同32.1%増）、セグメント損失は128百万円（前年同期は484百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前期末に比べて12,712百万円減少し、235,770百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べて7,458百万円減少し、93,206百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前期末に比べて5,254百万円減少し、142,563百万円となりました。主な要因は、減価償却による固定資産の減少によるものであります。

負債は、前期末に比べて13,019百万円減少し、147,150百万円となりました。主な要因は、借入金の減少によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べて306百万円増加し、88,619百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,607	22,052
受取手形及び売掛金	27,374	28,773
商品及び製品	9,522	9,930
仕掛品	5,313	5,825
原材料及び貯蔵品	18,562	17,951
繰延税金資産	1,174	1,133
その他	8,152	7,581
貸倒引当金	△42	△42
流動資産合計	100,664	93,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,572	41,519
減価償却累計額	△17,939	△18,304
減損損失累計額	△943	△937
建物及び構築物（純額）	22,688	22,277
機械装置及び運搬具	200,075	202,398
減価償却累計額	△130,497	△133,821
減損損失累計額	△1,165	△1,158
機械装置及び運搬具（純額）	68,412	67,419
工具、器具及び備品	10,467	10,601
減価償却累計額	△6,706	△6,894
減損損失累計額	△51	△50
工具、器具及び備品（純額）	3,708	3,656
土地	6,300	6,610
建設仮勘定	7,005	4,638
有形固定資産合計	108,116	104,602
無形固定資産		
のれん	8,874	8,514
顧客関連資産	14,110	13,466
ソフトウェア	1,626	1,522
ソフトウェア仮勘定	155	160
その他	3,251	3,077
無形固定資産合計	28,017	26,740
投資その他の資産		
投資有価証券	5,744	5,340
出資金	73	85
長期貸付金	48	53
繰延税金資産	2,751	2,663
その他	3,117	3,130
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	11,683	11,220
固定資産合計	147,818	142,563
資産合計	248,482	235,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,127	16,093
短期借入金	28,589	13,500
1年内返済予定の長期借入金	9,390	9,926
未払金	3,523	2,900
未払費用	5,509	6,390
未払法人税等	1,388	1,792
賞与引当金	1,825	1,560
役員賞与引当金	47	21
製品補償引当金	23	22
その他	4,561	5,097
流動負債合計	71,985	57,306
固定負債		
社債	10,016	10,014
長期借入金	64,663	66,837
繰延税金負債	6,631	6,434
退職給付に係る負債	5,037	4,911
その他	1,835	1,646
固定負債合計	88,184	89,843
負債合計	160,169	147,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	2,973
資本剰余金	1,952	1,952
利益剰余金	71,114	73,065
自己株式	△7	△8
株主資本合計	76,033	77,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,394	2,153
繰延ヘッジ損益	△0	8
為替換算調整勘定	△6,467	△7,283
退職給付に係る調整累計額	△376	△333
その他の包括利益累計額合計	△4,450	△5,454
非支配株主持分	16,730	16,090
純資産合計	88,312	88,619
負債純資産合計	248,482	235,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	37,417	56,551
売上原価	31,276	47,717
売上総利益	6,141	8,833
販売費及び一般管理費	3,815	5,158
営業利益	2,325	3,675
営業外収益		
受取利息	32	92
受取配当金	42	102
為替差益	—	148
助成金収入	268	97
その他	63	119
営業外収益合計	406	560
営業外費用		
支払利息	247	283
固定資産除却損	1	—
為替差損	1,875	—
その他	15	46
営業外費用合計	2,140	329
経常利益	592	3,905
特別利益		
固定資産売却益	15	6
特別利益合計	15	6
特別損失		
固定資産売却損	1	19
固定資産除却損	4	47
特別損失合計	6	66
税金等調整前四半期純利益	602	3,845
法人税等	△44	1,525
四半期純利益	646	2,320
非支配株主に帰属する四半期純利益	120	186
親会社株主に帰属する四半期純利益	525	2,133

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	646	2,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△526	△240
繰延ヘッジ損益	△7	8
為替換算調整勘定	△6,982	△1,129
退職給付に係る調整額	35	51
その他の包括利益合計	△7,480	△1,309
四半期包括利益	△6,834	1,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,491	1,129
非支配株主に係る四半期包括利益	△343	△118

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日であった連結子会社ピーティール・ムサシオートパーツインドネシア及びムサシハンガリーマニュファクチャリング・リミテッドは、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、より適時適切な情報に基づき、財務情報としての有用性を高めるため、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

これに伴い、当該連結子会社の平成29年1月1日から平成29年3月31日までの損益については、それぞれ利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア (注) 3	南米	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	5,909	11,224	1,396	17,339	1,547	37,417	—	37,417
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,305	58	0	1,390	2	6,757	△6,757	—
計	11,215	11,283	1,396	18,730	1,549	44,175	△6,757	37,417
セグメント利益又は損失 (△)	270	660	233	1,467	△484	2,148	177	2,325

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額177百万円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めました武蔵精密自動車零部件(南通)有限公司及び武蔵精密企業投資(中山)有限公司は、「アジア」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれん金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に「欧州」セグメントにおいて、ハイホールディング・ゲーエムベーハーの全株式を取得し、同社を連結子会社としました。当該事象によるのれんの増加額は当第1四半期連結累計期間においては8,558百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	南米	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	6,677	10,481	18,794	18,552	2,044	56,551	—	56,551
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,945	71	0	1,105	0	6,123	△6,123	—
計	11,623	10,553	18,795	19,658	2,044	62,674	△6,123	56,551
セグメント利益又は損失 (△)	448	289	661	2,324	△128	3,595	80	3,675

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額80百万円は、セグメント間取引消去であります。
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。